

令和6年3月議会を終えて

令和6年3月29日
市川三郷町長 遠藤浩

- ・ 3月議会において、つむぎの湯およびニードスポーツセンターの料金改定の条例案が否決されました。非常に残念です。
- ・ 本来、議会の採決は町的意思決定ですから尊重いたします。
- ・ しかしながら、採決時には町の発言機会はなく、反対者の主張だけが伝えられている現状です。
- ・ 町民の皆様に町の考えを情報提供したいと考えています。

- ・ 先ず、今議会に提出した議案の多くは、行財政改革を推進する抜本的、集中的改革の一環です。
- ・ 行財政改革推進計画では、合併以来、18年間見直してこなかった全ての事務事業、施設のあり方を見直すこととしています。
- ・ 施設の料金については、本来、数年に一度、改定が必要かどうか検討を行うものです。
- ・ しかし、本町では、合併以来検討しておらず、つむぎの湯やニードスポーツセンターも同様に、2度の消費税増税や物価高騰で他自治体施設が料金改定を行った際も据え置いて来ました。
- ・ このため、近隣の類似施設等の料金を参考に、その平均的な額に改正しようとしたものです。
- ・ つむぎの湯もニードスポーツセンターも今後も継続させていきたい考えは、利用者同様、町も同じです。そのためには経営改善や料金改定は避けがたい課題です。

- ・ まず、経営改善です。
- ・ 議案採決時の経営改善に関する議論については、常任委員会審査でお答えいたしましたが、今回提案した当初予算では、人員体制縮小、営業時間短縮など効率的な運営形態に見直しています。
- ・ また、利用者増加への取り組みについても、つむぎの湯の泉質が非常に素晴らしいこと、ニードスポーツセンターの運動機器や指導員が充実していることなど、それぞれの施設が持つ特色を前面に打ち出し、職員によるきめ細やかなPR活動など、現時点で行っている活動を更に強化し、今後も精力的に実施していくと答弁しています。
- ・ これらの取り組みは、しっかりと行っていきますが、経営改善には料金改定も必要です。
- ・ 改善への取り組みは、何かから順番に行うのではなく、できることはスピード感を持って取り組むべきと考えます。

- ・ 次に、料金改定です。
- ・ 提案した料金の額についての議論がありましたが、今回の改定では、近隣の類似施設等の料金を参考に、その平均的な額を設定したものであり、例えば、つむぎの湯は600円と、決して必要以上に上げようとしたものではありません。
- ・ 温泉等の施設は、利用される方に適切な料金をご負担いただくこととされていますので、その趣旨に則り改定をしようとしたものです。

- ・ また、受益者負担に関し、保険料や税を取り上げた議論がありましたが、施設の利用料金は法律上「使用料」と呼ばれており、これについては受益者負担の考えのもと、利用者に適切な額

をご負担いただくこととされています。

- ・ 「保険料」は、病気やケガによって生じる経済的な負担を、お互いで支え合うことを目的にした社会保障制度で、受益者負担の考えとは全く異なるものです。
- ・ 「税」は、道路などの公共物を作ったり、福祉、教育などの公共サービスを提供するため、法の定めに基づき収めていただいているものです。
- ・ このように目的や仕組みはそれぞれ明確に区分されております。

- ・ また、町が今回料金を改定し施設を潰そうとしているかのような議論もありましたが、冒頭申し上げましたとおり、つむぎの湯もニードスポーツセンターも今後も継続させていきたい考えは、利用者同様、町も同じです。
- ・ しかし、これら二つの施設には、過去3年平均で年間1億円の税金を投入しています。
- ・ 年間予算90億円の町にとって、1億円は大きな負担です。
- ・ 確かに利用者増加への取り組みも重要ですが、過去最大の利用者があった年でも、町の負担は現在と同様でした。利用者の増加だけでは、施設の経営は改善できません。
- ・ 受益者負担の観点だけでなく、経営改善に向けても料金の改定は不可欠です。
- ・ 今回の取り組みでは、経費削減や利用者拡大に加え料金も見直すことで、全体で、つむぎの湯3千4百万円余、ニードスポーツセンター7百万円余の税金の投入を削減する計画でした。

- ・ なお、今回の議会では、大規模災害が頻発する中、生命、財産を守るべく提案した防災行政無線予算についての議論もありました。
- ・ 防災行政無線の更新については、国も事業の重要性を認め特別な借入制度を設けており、借入金の7割は、国から支援いただけます。
- ・ また、来年度の歳出予算は、確かに昨年度より増額となっていますが、積極的な財源確保策を講ずることで、町の貯金である財政調整基金の取崩額は大幅に削減しています。
- ・ 将来の財政負担も試算・分析し、支障ないと判断した上で予算計上をしています。
- ・ 詳細は、YouTubeで公開している本会議1日目の「議案上程・質疑」にて答弁していますので、ご覧いただければと思います。

- ・ 本町の財政状況が危機的状況へ陥った原因は、事務事業の見直しや施設のあり方検討を合併以来進められなかったこと、と申し上げてきました。
- ・ 私たちは、躊躇することなく行財政改革を集中的、抜本的にトップスピードで推進しています。
- ・ これは、市川三郷町が将来に渡って住民の皆様と共に歩み、住民の皆様の生命、財産、安全、福祉、教育、権利を守り、持続可能な市川三郷町を実現しようとするものです。
- ・ 今後も、町民の皆様への情報発信については、広報いちかわみさとや、行政説明会などの説明会、YouTube配信ほか多メディアを通じて配信して参ります。
- ・ 直接的な関係の有無に関わらず、多くの皆様からのご意見やコメントをお待ちしています。